

## 留学報告書

記入日: 2019年 9月 6日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部政治学科
留学先国	マレーシア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: マラヤ大学 現地言語: Universiti Malaya
留学期間	2018年 9月～ 2019年 6月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年 6月 26日
明治大学卒業予定年	2021年 3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期: 9月-1月 2学期: 2月-6月 3学期: (記入例/1学期:9月中旬~2月上旬, 2学期:2月中旬~6月上旬)
学生数	27000人
創立年	1962年

留学費用項目	現地通貨 ( RM )	円	備考
授業料		0円	
宿舍費		270000円	
食費		120000円	
図書費		0円	
学用品費		0円	
教養娯楽費		40000円	
被服費		10000円	
医療費		0円	
保険費		62140円	形態: 前期は日本とマレーシア両方で加入したが 後期は日本の保険のみ
渡航旅費		48000円	
雑費		10000円	
その他		0円	
その他		0円	
その他		0円	
合計		561400円	

## 渡航関連

渡航経路: 直行便

渡航費用

チケットの種類 e チケット

往路 28700

復路 28700

合計 561400

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

International House という大学の留学生用アパート。

2) 部屋の形態

 個室 OR  相部屋(同居人数 4 )

3) 住居を探した方法:

ウェブサイト

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

フラットメイトと問題が発生した場合は部屋の変更も交渉可能でした。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

 利用する機会がなかった 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

基本的に留学生の取り扱いをするのは International Student Office だが、あまり機能していないため、相談窓口は事実上ありません。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特にこれといった防犯対策はしていません。治安はかなり良いです。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

図書館のインターネット接続はあまりよくありません。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

キャッシュパスポートを利用した。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

日本食。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

## 卒業後の進路について

1) 進路	
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:	
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など	
日本にいる学生とあまり変わらないと思います。	
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。	
未回答希望	
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。	
漠然とはありますが、東南アジアにかかわる仕事をしたいとの思いが強くなりました。	
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。	
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。	
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。	

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Economic development in Southeast Asia	東南アジアの経済発展
科目設置学部・研究科	教養学部東南アジア学科
履修期間	第一セメスター
単位数	3
本学での単位認定状況	申請中
授業形態	チュートリアル及び講義形式
授業時間数	1週間に 60 分が 3 回
担当教授	
授業内容	東南アジアの経済発展についての授業です。トピックは経済ですが、東南アジア学科対象の授業であるため、経済のバックグラウンドがなくてもつけいける内容です。
試験・課題など	mid exam, final exam, 小テスト、最終レポート
感想を自由記入	しっかり授業をしてくれる先生でした。ただ、留学生に対してあまりよく思っていないようです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Theory of International relation I		国際関係論 I	
科目設置学部・研究科	教養学部国際関係学科		
履修期間	第一セメスター		
単位数	3		
本学での単位認定状況	申請中		
授業形態	チュートリアル及び講義形式		
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回		
担当教授			
授業内容	国際関係の理論についての授業。		
試験・課題など	プレゼンテーション、中間及び期末試験、レポート		
感想を自由記入	国際関係学科は他の学科よりも留学生に対してオープンだと感じました。授業内容もためになります。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Sustainable Development		持続可能な開発	
科目設置学部・研究科	教養学部文化人類学科		
履修期間	第一セメスター		
単位数	3		
本学での単位認定状況	申請中		
授業形態	チュートリアル, 講義形式等		
授業時間数	1週間に 120 分が 1 回		
担当教授	Dr.Welyn		
授業内容	持続可能な開発をマレーシア先住民族等の観点から学ぶ		
試験・課題など	プレゼンテーション、期末試験、グループワーク		
感想を自由記入	教授にあまりやる気がなく、得るものがない授業でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
BALLET I		バレエ I	
科目設置学部・研究科	文化センター・舞踊学科		
履修期間	第一セメスター		
単位数	3		
本学での単位認定状況	申請中		
授業形態	実技		
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回		
担当教授	Dr. Joyce		
授業内容	バレエの初級レベルの実技		
試験・課題など	各種レポート及び最終試験		
感想を自由記入	ストレスの多いマレーシア生活の中、良い息抜きになりました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Theory of International Relation II		国際関係理論 II	
科目設置学部・研究科	教養学部国際関係学科		
履修期間	第二セメスター		
単位数	3		
本学での単位認定状況	申請中		
授業形態	チュートリアルと講義形式)		
授業時間数	1週間に 90 分が 2回		
担当教授	Dr.Roy		
授業内容	国際関係理論		
試験・課題など	最終レポート		
感想を自由記入	授業内容は平易だが評価は厳しい		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Culture and Society in Southeast Asia		東南アジアの社会と文化	
科目設置学部・研究科	教養学部東南アジア学科		
履修期間	第二セメスター		
単位数	3		
本学での単位認定状況	申請中		
授業形態	チュートリアル, 講義形式		
授業時間数	1週間に 60 分が 3 回		
担当教授	Dr. Mala		
授業内容	東南アジアの文化等について(表面的な文化ではなく思想等)		
試験・課題など	最終レポート、試験、チュートリアルの発表準備(毎週)		
感想を自由記入	大変厳しい授業でした。教授も共にグループワークを行う学生も厳しいですが、相当頑張れば認めてもらえ、A 評価ももらえます。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Political Development in Southeast Asia		東南アジアの政治発展	
科目設置学部・研究科	教養学部東南アジア学科		
履修期間	第二セメスター		
単位数	3		
本学での単位認定状況	申請中		
授業形態	チュートリアル, 講義形式等		
授業時間数	1週間に 60 分が 3 回		
担当教授	Dr.Chong Wun Lin		
授業内容	東南アジアの政治史		
試験・課題など	中間期末レポート、試験		
感想を自由記入	興味を持っていた内容なのでおもしろかった。教授の英語には改善を望むがいい先生でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Cultural Tourism in Southeast Asia		東南アジアにおける文化的ツーリズム	
科目設置学部・研究科	教養学部東南アジア学科		
履修期間	第二セメスター		
単位数	3		
本学での単位認定状況	申請中		
授業形態	チュートリアル, 講義形式等		
授業時間数	1週間に 120 分が 1回		
担当教授	Dr. Fatin		
授業内容	東南アジアツーリズムにける事例について		
試験・課題など	グループワーク		
感想を自由記入	一学期からの友人がいたため、クラスにもスムーズになじむことができました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Lecture Series on ASEAN		ASEAN 講義	
科目設置学部・研究科	教養学部東南アジア学科		
履修期間	第二セメスター		
単位数	3		
本学での単位認定状況	申請中		
授業形態	チュートリアル, 講義形式等		
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回		
担当教授	Dr.Lydia		
授業内容	ASEAN の成立、機構について		
試験・課題など	発表、試験		
感想を自由記入	プレゼンの順番が一番早かったため、日本人留学生に対する偏見を早期に取り除けたので精神的に楽に受けることができました。		

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	高校卒業
4月～7月	マラヤ大学語学要件取得
8月～9月	学部プログラムを利用してタイに一月滞在
10月～12月	留学選考等
2018年 1月～3月	フランスのリヨン政治学院に学部間'留学
4月～7月	各種手続き
8月～9月	出発準備、出発、履修登録等各種手続き
10月～12月	各種手続き及びフラットメイト変更
2019年 1月～3月	冬休み、留学先で出会った友人と中国を旅行
4月～7月	学業に専念
8月～9月	ドイツ系企業でインターンを行う
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	高校時代に、海外式の教授方法に触れ、留学してみたいと考えたからです。
留学のためにした準備、 しておけば良かったと思う 準備	留学先に対しての全体像の把握と現地語の学習です。
この留学先を選んだ理由	東南アジアに興味があり、タマサート大学と迷いましたが、訪れたことのない国に行ってみたくてという単純な理由からマレーシアを選択しました。また、こちらの大学を選んだ理由としては、幅広い科目が履修可能であったからです。
大学・学生の雰囲気	学部学科によって異なると思いますが、真面目な学生が多い印象を受けました。
寮の雰囲気	寮ではなくアパートメントに住んでいたのではありません。
交友関係	留学生同士ですとやはり仲良くなりやすく、主にインドネシア人、中国人、韓国人と食事をしたりしていました。また、留学開始直後はローカルバディの学生が様々な企画をしてくれるので、積極的に参加しました。
困ったこと、大変だったこと	事務室の事務が煩雑な点、またフラットメイトとうまくいかなかった点です。話し合いをするなど、改善に取り組みましたが、限界を感じたので部屋変更の交渉をして乗り越えました。
学習内容・勉強について	講義内容はそこまで難解ではなく、ついていくことにそこまでの苦労は感じませんでした。しかしながら、評価が厳しいため、良い成績を取得するのは難しく感じました。
課題・試験について	15ページ程度の期末レポートが各授業で課されるため、前々からの準備が重要でした。プレゼンテーションもありますが、他の講義のものと被らなければそんなに大変ではありません。試験は明治大学に比べて評価が厳しいと感じました。



大学外の活動について	私は寮に住んでいなかったため、他の留学生と関わる機会がすくなかったのですが、その分積極的に国際交流をはかるようにしました。
留学を志す人へ	知っておいてほしい、ということとは特にございませんが、様々な困難、悩みを乗り越えられるよう応援しております。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		授業		授業	インターン (全日)	睡眠	友人と外出 (全日)
	授業			チュートリアル		課題	
午後						睡眠	
	授業	授業	授業	インターン		課題	
夕刻	買い出し		授業	インターン		課題	
夜						課題	